

令和8年3月吉日

## 令和8年度のルール取り扱いについて

次年度より FIVB で適用されている試験運用ルールを国内でも取り入れることが決定されました。これを受け、全国高体連、関東高体連でも同様の扱いとすることになりました。

当連盟においては、次年度の関東大会予選より適用となります。

適用される試験運用ルールの概要は以下の通りです。

◇チームの2回目のヒットが指を使ったオーバーハンドパスで行われ自チームの空間内にボールが飛んだ場合は、手の中で連続して接触してもダブルコンタクトの反則にならない。アタックヒットが完了(ボールがネットの垂直面を完全に通過するか、相手ブロックに接触)したときは、ダブルコンタクトの反則になる。

◇レシービングチームの選手は、サーバーがトスした瞬間にどの位置にいてもよい。サービス許可のホイッスルからトスまでの間にコート内に位置していなかったり、ポジションが完全に入れ替わったりした場合、サービスヒットの瞬間にポジションの反則となる。

以上となります。

なお、詳しい取り扱いについては3月20日に開催される全国審判講習会にて正式に伝達されます。その内容を総会後の審判技術研究協議会にてお伝えいたします。